

【生薬製剤】

強 鎮 悸[®] 散

第2類医薬品

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (6) 次の医薬品を服用している人。
瀉下薬(下剤)
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|----------|----------------|
| ひ 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称 | 症 状 |
|-------|--|
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
軟便、下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

神経性心悸亢進^{a)}症、眩暈^{b)}、神経衰弱、不眠症、動脈硬化症、高血圧症、関節リウマチ

a) 神経性心悸亢進：神経性の動悸^{どうき}のことを示します。

b) 眩暈：めまいのことを示します。

用法・用量

次の量を食前又は食間^{注)}に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

注)「食間」とは食後2～3時間を指します。

| 年 齢 | 1 回量 | | 1 日服用回数 |
|------------|-----------------|--------|---------|
| | 容器入りの場合 | 分包品の場合 | |
| 大 人 | 1.5g(添付のサジ1杯) | 1 包 | 3 回 |
| 10歳以上15歳未満 | 大人の2/3の量(1.0 g) | 2/3包 | |
| 5歳以上10歳未満 | 大人の1/2の量(0.75g) | 1/2包 | |
| 5 歳未満 | 大人の1/3の量(0.5 g) | 1/3包 | |

(用法・用量に関連する注意)

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
- (4) 生後3ヵ月未満の乳児には服用させないこと。

成分・分量

本剤4.5g又は3包中

| | |
|------------------------------|---------------------------------|
| ダ イ オ ウ……………0.078g | } エキス……………0.647mL(固形物として0.039g) |
| リ ュ ウ コ ツ……………0.621g | |
| タ イ ソ ウ……………1.154g | } エキス……………2.305mL(固形物として0.385g) |
| ハ ン ゲ……………3.077g | |
| オ ウ ゴ ン 末……………0.385g | |
| ケ イ ヒ 末……………0.385g | |
| シ ョ ウ キ ヨ ウ 末……………0.385g | |
| ダ イ オ ウ 末……………0.231g | |
| チ ク セ ツ ニ ン ジ ン 末……………0.385g | |
| ブ ク リ ヨ ウ 末……………0.385g | |
| ボ レ イ 末……………0.385g | |
| サ イ コ 末……………1.150g | |
| 沈降炭酸カルシウム……………0.385g | |

- ・本剤は淡黄褐色で、特異なおいを有し、味は苦い散剤です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調が異なることや、また天然生薬色素により容器・包装等が黄味を帯びることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

強鎮悸散は生薬の特性を活かした生薬製剤ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬製剤のことをご理解いただいている医師、薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元

剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号